

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	37082	
事業名	ものづくり人材確保支援費						
評価担当課	所属名	経産産業振興部 産業振興課					
	課長名	小室	担当者名	須藤、名取	電話番号	211-2392	
施策名	主	安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されたと					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	①アクションプラン2019の目標、若年層へ向けた啓発イベント等の参加人数(累計)を20,000人(2022年度)とする。②技能士の育成・技能向上。				
		長期	製造業・建設業の人材確保のため、若年層に対して技能や職業の魅力を発信するとともに体験機会を設けて、将来的な就職を促進する。				
	取組内容	市内中小ものづくり企業の人材育成及び中長期的な人材確保について、以下の取組により支援する。 ①技能フェスティバル開催の補助 ②小中学生向け、ものづくり体験拠点「ものづくりKids拠点」構築補助 ③高校生向け、職業体験イベント「ジモトのシゴト ワク！WORK！」の開催 ④事業内職業訓練団体への職業訓練実施に係る補助					
実施結果	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、技能フェスティバルは中止 ②ものづくりKids拠点は、会場開催(サンブラザ角広場、産振センター)を22回実施し、計685名の子どもが来場し、ものづくり体験を行った。 ③「ジモトのシゴト ワク！WORK！」は令和4年9月13～15日につどーむで開催。42企業・団体が出展し、6,815名の高校生が来場した。 ④事業内職業訓練費補助は、認定職業訓練校5団体(30名)に2,365千円を交付した。						
事業実施における工夫点	小学校低学年から高校生まで、それぞれの年代に対して、対象者に適したものづくり体験や職業体験ができる機会を設けて、若年層への魅力発信に取り組んでいる。						
対象者	札幌近郊製造業者・建設業者、子ども・親			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	ものづくりKids拠点構築事業補助金交付要綱、札幌市認定職業訓練費補助要綱、職業能力開発促進法						
他都市の状況	てくのかわさき技能フェスティバル(川崎市)、京都ものづくりフェア(京都市)、北九州ゆめみらいワーク(北九州市)など						

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		10,267	18,000	14,175	16,000
うち特定財源		0	0	0	0
人工		1.0	1.0	1.0	1.0
人件費		7,200	7,200	7,200	7,100
計(事業費＋人件費)		17,467	25,200	21,375	23,100
事業費 の内訳	令和4年度決算	・ものづくりKids拠点 2,700千円 ・ジモトのシゴト ワク！WORK！ 9,085千円 ・事業内職業訓練団体補助金 2,365千円 ・事務費 25千円			
	令和5年度予算	・ものづくりKids拠点3,000千円 ・ジモトのシゴトワーク！WORK！8,100千円 ・事業内職業訓練団体補助金3,400千円 ・技能フェスティバル補助金1,500千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	事業内職業訓練修了生数(人)							
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
		28	35	30	35					
活動指標2		指標名	ジモトのシゴト ワク！WORK！参加生徒数(人)							
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
		4,404	6,500	6,815	6,200					
成果指標1		指標名	地元企業の印象が良くなった生徒の割合(ワク！WORK！)							
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
		46.20%	80%	42.4	60					
成果指標2		指標名								
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
項目	判定	理由								
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	ジモトのシゴト ワク！WORK！の成果指標は目標未達となったが、活動指標の来場者は目標を上回る結果となり、多数の高校生に来場していただいた。 また、ものづくりKids拠点構築は、22回のリアル開催で685名の子どもが来場し、ものづくり体験の機会・魅力発信の機会を実現した。								
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	ものづくりの魅力発信にかかる事業は、少人数を対象としたものだけでなく、多くの子どもたちに発信する必要がある。技能フェスティバル、ものづくりKids拠点、ジモトのシゴト ワク！WORK！といった、幅広い年齢層にもものづくり体験の機会を提供できており、適切な規模である。								
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	ジモトのシゴト ワク！WORK！では、若年層向けイベント開催実績のある株式会社マイナビと共催により実施し、ものづくりKids拠点構築は、継続してものづくり体験拠点を運営してきた実績を持つ事業者に対する補助により実施しており、行政だけでなく民間企業と共に実施することで、行政単独では難しい体験や魅力発信を行うことにより、質の維持・向上に繋がっている。								
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	アンケート結果において、ジモトのシゴト ワク！WORK！では、来場者の半数以上から「仕事や業界について理解が深まった」「進路選択の参考になった」「仕事内容に興味を持った」という回答があり、参加企業も8割以上が「また参加したい」と回答している。また、ものづくりKids拠点構築でも、来場した子どもの8割以上が「次回も是非来たい」と回答するなど、参加者の満足度が高いため。								
市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外		市民参加結果への対応		☐ 回答 ☒ 反映					
今後の改善点	ジモトのシゴト ワク！WORK！は、出展企業や体験内容について適宜見直しを行い、来場する高校生に様々な体験をしてもらえるよう、さらに出展企業にとって効果的な魅力発信の場となるよう継続して改善を図っていく。ものづくりKids拠点構築は、拠点構築場所の固定化や、より多くの子どもたちの来場に繋がるような周知方法の検討など、拠点の定着に向けた手法を検討していく。									
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
今年度取り組んだ見直し内容	無し			見直し効果額 (前年度)	0	千円				
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
評価の理由	ジモトのシゴト ワク！WORK！では目標を上回る来場者数を達成したほか、ジモトのシゴト ワク！WORK！・ものづくりKids拠点構築のどちらも、来場者・参加企業共に満足度が高いため。									
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止								
		これまで行ってきた技能士の育成および若年層に対するものづくりの魅力発信に加え、人手不足に悩む中小企業への人材採用力の強化や省力化に資する機器導入への支援の実施により、人手不足に対する支援も行っていく。								
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他			ものづくり企業人手不足対策費として計上					
				見直し効果額	0	千円				